

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 南越谷教室教室

保護者等数(児童数) 12 回収数 11 割合 91%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11					保護者様の見学は随時受け付けておりますので、教室の状況をご確認いただく事が可能です。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9			2	児童の方は、子どもの数が少ないので、手厚く てありがたいです。	職員の専門性を生かした支援を続けてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			1		保護者様の見学は随時受け付けておりますので、教室の状況をご確認いただく事が可能です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			1		毎日の清掃により、清潔な環境整備を引き続き行っております。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11					適正な評価をいただいております、引き続き継続してまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			1		支援計画のご不明点等は、いつでもご相談・ご質問いただければと思います。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11					適正な評価をいただいておりますので、引き続き継続してまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11					固定化しないよう毎月プログラムを変更しており、今後も継続してまいります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	6		保護者様のご意見やニーズを検討し、今後検討していきたいと思っております。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					運営・ご利用に関してのご不明点等は、いつでもご相談いただけるよう工夫してまいります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10			1		支援内容のご不明点等は、お気軽にご相談いただければと思います。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4	2	2	3		都度ご相談に対して、問題点の分析・改善案等はご提案させていただきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					適正な評価をいただいております、送迎時の申送り、連絡帳でのお伝えを継続し情報の共有化をしております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				子育ての先輩方が多く、分からないこと等聞きやすいです。	送迎時等に、困りごと等のご相談には対応しております。定期的な面談等はご要望に沿って検討いたします。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	5	5		保護者様のニーズを分析し開催を検討したいと思っております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11					ご利用・支援等のご相談は随時受け付けております。ご相談時は適切に対応してまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					送迎時の申送り、連絡帳でのコミュニケーションを継続してまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	2		2	レクの制作で作った物で、家でも遊んでいただけます。毎月楽しみにしています。	SNSを通してレクリエーションのお知らせ、活動の様子のお伝え等を行っております。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11					職員研修等を行うことで、今後も個人情報の取扱いには十分注意してまいります。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8			3		各種のマニュアルは策定しておりますが、保護者様への周知・説明は不足しております。訓練等を行った際に周知・説明出来るように検討してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1		5		定期的に、避難訓練は行っております。連絡帳にて訓練の内容等をお伝えしていければと思います。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11				明るく優しい先生ばかりで、子どもも楽しく通うことが出来ています。とても楽しみにしております、行く前も帰った後も自ら話をしてくれます。	お子様に楽しんで通所していただける様、引き続き支援内容を工夫し取り組んでまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	11				田中一人で双子を育てていたので、レスパイトケア的な要素もあり満足しています、ありがとうございます。子どもに寄り添い指導して下さりとてもありがたいです。	いろいろな支援のご要望に沿った対応を心がけ取り組んでまいります。

206 7 10 30

81%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 南越谷教室教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12		その日のご利用者様に合わせ、教室を分ける等の対応をしています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	11	1	放デイのスタッフにまでもらう等柔軟に対応している。	日々のご利用者様に合わせた職員数の配置。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	1		バリアフリー化等、必要性が出た場合は、改善を検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12		その日のご利用者様に合わせて、安全面等を考慮し環境を整えて対応している。ドアノブのカバー、ジョイントマットを敷く等安全面に配慮されている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	2	必要なタイミングで、会議等を開催しています。	今後は定期的な会議の開催を検討する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11		年一回のアンケート実施。	アンケート結果を職員間で共有し、業務改善へつなげていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	本部のホームページで公開しています。	アンケート結果の公開は行っているが、保護者様への周知がされていないので、今後はSNSを使い周知する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6		今後の検討課題。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	5	年間計画表に沿った研修を行っている。	支援に関わる外部研修の実施。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	1	本人支援として、個別で書練習や気持ちカード等を使用して支援を行っている。一年生になる子どもには、放デイ教室で過ごす日を設けて、スムーズな移行を目指した支援をしている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	4		今後は、チームでのプログラム立案を検討する。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		毎月、運動・制作等のプログラムを立案して対応。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3	スケジュール表・送迎表を各自確認している。簡単な役割分担の確認は行っている、イベント時はしっかりしたミーティングを行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	5	毎日の業務日報を職員全員で確認し、情報を共有している。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12		活動記録・業務日報を記入し職員間で確認の上サインし情報共有している。		
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	2			
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1	サービス担当者会議等は、児童発達支援管理責任者が必ず参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	4		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		支援の対象ではありません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		支援の対象ではありません。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2	基本は、保護者様経由の情報共有が主です。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	お迎え時の情報交換、保護者様経由での情報共有。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6		現状は行っていませんが、保護者様のニーズを分析し児童館等での活動等を検討します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		送迎時・連絡帳により、保護者様との情報共有をしています。	現時点では、問題になっていなくても、気になることは早めに共有する。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	4		保護者様のニーズを分析し開催を検討したいと思います。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12		契約時に行っています。	運営規定・利用者負担等、いつでもご相談可能な事を保護者様へ周知する。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12		随時ご相談等には対応しております。	定期的にご相談する場を設定出来るか検討する。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6	現状は開催できてない。	保護者様のニーズを確認し、検討する。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12			日頃から、送迎時・SNS等で、どんな些細な問題でもご相談していただけるような環境にしていける。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	6	SNSを通じて、活動や行事の様子をお伝えしている。	今後は、定期的な会報等の発行を検討する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12			研修により、個人情報に関する理解を深めていく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		絵カード等を使うなど、個々に合わせた対応を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8		保護者様のご意見を参考に開催の是非を判断する。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12			現状は、火災発生を想定した避難訓練を実施しているが、いろいろな緊急時に対応した訓練実施を検討する。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12		毎月一回火災避難訓練を実施している。	火災・地震等のいろいろな災害を想定した訓練を検討する。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12				
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		おやつ置き場に、食物アレルギーのご利用者様のリストと対応が置かれている。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12		都度ヒヤリハット記録を作成し、職員間で共有しています。	半年・一年後等に見直し、再発防止に活用する。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12		年間計画表に沿った研修を行っている。	今後も研修を継続し、虐待防止に取り組む。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	1	基本的に身体拘束は行っていませんが、研修を行い知識や理解を職員間で共有しています。		